

金沢城公園 橋爪門



金沢城の「歴史的文化遺産の保護と新たな文化資産の創造」を図るため、現存する「石川門」、復元整備された「河北門」とともに「三御門」と呼ばれる「橋爪門」の復元を行った。

文化5年(1808)大火で焼失後再建され、明治14年(1881)に火災で焼失されるまでの姿を復元した。

史実に忠実に復元できるように発掘遺構、古写真、絵図、古文書等で検証し、伝統工法で建設した。



二の門 門部



二の門2階櫓内部



枳形内部

橋爪門の整備： 一の門から二の門を繋ぐ枳形の石垣、その上の土塀と2ヶ所の出しからなる、広さ約445㎡の枳形と、木造2階建て、間口14.4m、奥行き7.9m、高さ約13mで延床面積約136㎡の二の門。

橋爪門の仕上：
 ○鉛瓦葺屋根
 ○門部分をケヤキ造り、帯鉄板張り
 ○漆喰壁
 ○隅柱に鉄板張り
 ○1階門部床に戸室石の敷石(□72cm)

伝統工法で復元：
 ○石垣積み(石工事)
 ○敷石(石工事)
 ○伝統軸組工法(木工事)
 ○銅板包み(板金工事)
 ○鉛瓦葺屋根(板金工事)
 ○漆喰壁・海鼠壁(左官工事)
 ○木製扉(建具工事)
 ○飾金物(金物工事)

 県産材使用

能登ヒバ 155.2㎡
 杉 9.9㎡

DATA

⑤公園休憩施設
 金沢市丸の内地内
 平成24年1月～平成26年12月
 博物館
 木造：地上2F
 延床面積136㎡